

## 第2期須賀川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度実績評価

### 1 評価の概要

本市では、人口減少社会に向き合い、地域経済縮小を克服するため、平成27年10月に「須賀川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本市ならではの強みや特長を最大限生かしながら、「まち・ひと・しごとの好循環」を具体化するための施策戦略に取り組んできました。

令和2年3月には、第1期で根付いた地方創生の意識や取組を継続し、一層の充実・強化に切れ目なくつなげるため、国や県の総合戦略改訂を踏まえて、令和2年度から令和4年度までの3年間を計画期間とする「第2期須賀川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、総合戦略)として改訂しました。

本市の総合戦略は、基本となる4つの柱のもと、11の施策戦略と数値目標、26の基本事項と52の重要業績評価指標(KPI)をそれぞれ設定し、これを基にPDCAサイクルによる検証を行うため、今回、令和3年度の実績について評価を取りまとめました。

※重要業績評価指標(KPI):Key Performance Indicatorの略称、事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標(目標値)

### 2 評価の結果【参考値】

基本となる柱	施策戦略の数値目標					基本事項のKPI				
	向上	横ばい	低下	実績値なし	合計	向上	横ばい	低下	実績値なし	合計
1 産業力を強化するまちづくり	0	1	2	0	3	6	0	6	2	14
2 すかがわの宝を生かしたまちづくり	0	1	0	2	3	4	0	8	0	12
3 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	0	1	1	0	2	4	3	4	1	12
4 健康な暮らしを守るまちづくり	0	0	0	3	3	5	1	4	4	14
合計	0	3	3	5	11	19	4	22	7	52
割合	0.0%	27.3%	27.3%	45.4%	100%	36.5%	7.7%	42.3%	13.5%	100%

※実績値の「-」は、2年に1度実施する市民アンケート、国勢調査など各種調査による数値のため該当年度に実績値が未取得であるもの、または、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できなかったため実績がないものです。

#### 【進捗状況】

令和4年度の目標値達成に向けて、実績値が総合戦略策定時に設定した値(以下、「基準値」。総合戦略では現状値と表記しています。)に対して、どのような進捗状況にあるかを右表のとおり「矢印の向き」で示します。

なお、令和3年度においては、数値目標、KPIのいずれの指標とも新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、基準値との比較が難しいため、令和2年度に引き続き、個々の指標での進捗状況は記載していません。

数・ 値K 目P 標I	進捗状況	基準
	↗	目標値達成に向けて、向上しているもの
	→	目標値達成に向けて、横ばい※であるもの
↘	目標値達成に向けて、低下しているもの	

※市民アンケート等の各種アンケートにより取得している数値目標・KPIについては、統計誤差を踏まえて、基準値との差が概ね±3%の範囲内の場合、「横ばい」としています。

### 3 検証

市内各界各層の代表者などの外部有識者で構成する須賀川市まちづくり推進会議において、実績に対する検証を行い、公表に関することを含め様々な意見をいただきました。

評価結果と須賀川市まちづくり推進会議での意見等を踏まえながら、引き続き、総合計画と一体的に地方創生を推進していきます。

## 4 評価

### 1 産業力を強化するまちづくり

#### 施策戦略1-(1) 雇用の創出と多様な就業環境の整備

数値目標	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
有効求人倍率(年平均)	1.26倍	0.93倍	1.06倍		1.3倍	—

##### 【数値目標の傾向】

「有効求人倍率(年平均)」は、新型コロナウイルス感染症の影響等による経済の停滞や先行きの不透明感から企業の求人数が減少したことなどにより、基準値と比べ低下していますが、ワクチン接種などの感染対策の効果により企業の求人数が回復傾向にあることなどから、前年度からは向上しています。

##### 【施策戦略の総合評価】

中小企業、小規模事業者の事業継続、雇用の維持を図るため、市独自の助成制度である「店舗等維持補助金」、「感染拡大防止経費補助金」などの各種支援に取り組みました。引き続き、商工会議所や商工会などの関係機関と情報共有を密にしながら、コロナ禍における事業継続、雇用の維持を支援するとともに、地域経済の活性化を図る必要があります。

#### 基本事項① 企業誘致の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市内立地企業数(平成25年度以降の累計)	7社	9社	9社		10社	—
市内立地企業による雇用数(平成25年度以降の累計)	158人	221人	221人		200人	—

##### 【主な状況、成果、課題等】

「市内立地企業数」及び「市内立地企業による雇用数」は、本市の持つ立地条件の優位性や全国トップクラスである企業立地支援制度により、基準値と比べ向上していますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、企業の景況が不安定であったことなどから、新たな企業の進出はありませんでした。

引き続き、社会経済情勢や企業の動向などを勘案しながら、企業ニーズに応じた支援策の実施、拡充を図っていく必要があります。

基本事項② 女性・障がい者・高齢者などの就業環境の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市及び関係機関で行っているセミナー等参加者数	143人	84人	411人		160人	—
ふるさと回帰支援事業利用者数	11人	7人	7人		15人	—

【主な状況、成果、課題等】

「市及び関係機関で行っているセミナー等参加者数」(合同就職面接会や就職ガイダンスなど、求職者と企業とのマッチングの機会を設け、就職支援を行う取り組み)は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年度に開催を見合わせた高校生対象企業説明会等を開催したことなどから、基準値及び前年度から向上しており、目標値を達成しています。  
 「ふるさと回帰支援事業利用者数」は、基準値と比べ低下していますが、前年度からは横ばいで推移しています。  
 引き続き、ハローワークなどの関係機関と連携を図りながら就業環境の整備に努めるとともに、UIターンでの就業促進の取り組みを進める必要があります。

施策戦略1-(2) 農業の担い手の育成・確保と地域特産物ブランド化の推進

数値目標	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
農産物の売上額 (JA)	4,983百万円	4,960百万円	4,623百万円		5,000百万円	—

【数値目標の傾向】

「農産物の売上額 (JA)」は、霜や降ひょうなどによる農作物被害の影響等により、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

【施策戦略の総合評価】

出荷量、販売額とも、農家戸数や作付面積の減少、霜や降ひょうによる大規模被害などにより、低下傾向にあります。農家の所得向上を図るため、地産地消の推進や市内外の販路拡大に努めるとともに、事業継続を図るため、自然災害などによる収入の減少に備える「収入保険」の加入を推進します。また、就農支援や農地集積の推進、耕作放棄地の再生、さらには、労働の省力化を図りながら安定的な生産量を確保することが期待できるスマート農業の普及、拡大に努めていく必要があります。

基本事項① 農業担い手の育成・確保

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
認定農業者率	7.7%	7.0%	6.8%		9.3%	—
担い手への農地利用集積面積 (累計)	3,061.3ha	3,238.1ha	3,417.6ha		3,500ha	—

【主な状況、成果、課題等】

「認定農業者率」は、農業従事者の高齢化などに伴う担い手不足等により、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。  
 「担い手への農地利用集積面積 (累計)」は、これまでに進めてきた土地改良事業や農地集積事業などの効果により、基準値と比較し356.3ha増加し、前年度と比較し179.5ha増加しています。  
 引き続き、新規就農支援や中核的担い手農家への農地集積、耕作放棄地の再生などを重点的に取り組むとともに、所得の安定、向上を図る必要があります。

## 基本事項② 農産物の生産振興

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
代表的な産地指定農産物のJA出荷量 (キュウリ)	5,270t	4,962t	5,099t		6,440t	—
代表的な特産農産物のJA出荷量 (日本ナシ)	1,156t	684t	580t		1,290t	—

### 【主な状況、成果、課題等】

「代表的な産地指定農産物のJA出荷量(キュウリ)」は、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しています。

「代表的な特産農産物のJA出荷量(日本ナシ)」は、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

これらは、高齢化による農家戸数や作付面積の減少に伴う生産量の減少、霜や降ひょうによる大規模被害などが要因と考えられます。

夏秋キュウリ出荷量は近年減少傾向にあることから、引き続き、国県等の補助を活用した栽培環境強化や効率化、新規栽培農家の確保に努めるとともに、被害防止のための防虫ネットや雨よけ栽培等を推奨するなど、生産基盤の強化を図る必要があります。

## 基本事項③ 特産農産物の販売促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
代表的な産地指定農産物のJA販売額 (キュウリ)	1,885百万円	1,801百万円	1,433百万円		1,900百万円	—
代表的な特産農産物のJA販売額 (日本ナシ)	293百万円	324百万円	207百万円		365百万円	—

### 【主な状況、成果、課題等】

「代表的な産地指定農産物のJA販売額(キュウリ)」及び「代表的な特産農産物のJA販売額(日本ナシ)」は、外食需要の減少や販売単価の下落、霜や降ひょうによる大規模被害などにより、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

引き続き、地産地消のさらなる推進、首都圏などへの農作物のPRや多様な販路開拓を図るとともに、第三者認証GAP取得の推進など、地域特産物のブランド化に努める必要があります。

## 施策戦略1-(3) 商工業の競争性の向上

数値目標	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
経営状況が良いと感じている事業所の割合	16.7%	8.3%	17.7%		20.0%	—

### 【数値目標の傾向】

「経営状況が良いと感じている事業所の割合」は、新型コロナウイルス感染症の影響等により大幅に落ち込んだ令和2年度から回復傾向となったことから、基準値と比べ概ね横ばいですが、前年度からは向上しています。

### 【施策戦略の総合評価】

商工業分野では、長引く新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻などによる原油価格・物価高騰の影響等が懸念されます。一方、中心市街地においては、市庁舎、市民交流センター、風流のはじめ館の開館などによる来訪者や新規出店が増加しています。今後も、市内事業者のニーズを的確に把握し、効果的な事業者支援を実施していくとともに、地域経済の活性化を図る必要があります。

### 基本事項① 商工業の育成支援

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H28)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市内卸売・小売業年間売上高	131,949百万円	—	—		133,000百万円	—
市内製造品出荷額等	167,352百万円	162,741百万円	—		200,000百万円	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「市内卸売・小売業年間売上高」及び「市内製造品出荷額等」は、経済センサス活動調査等により取得していますが、令和4年10月時点で公表されていないため、実績値は取得できませんでした。

引き続き、工業製品の認定やふるさと商品の販路開拓支援、中小企業の人材育成や企業間のネットワーク構築支援など、既存企業の育成支援に努める必要があります。

### 基本事項② 中心市街地の活性化

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
休日歩行者通行量	1,960人/日	2,992人/日	3,871人/日		2,400人/日	—
新規出店数(3年間の累計)	18店舗 (2013～2018)	12店舗 (2020)	23店舗 (2020～2021)		20店舗 (2020～2022)	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「休日歩行者通行量」は、市庁舎、市民交流センター、風流のはじめ館の開館などによる中心市街地への訪問機会の増加、それに伴う周辺店舗等の認知向上などから、まちなか回遊がさらに促進されたことにより、基準値及び前年度から向上しており、目標値を達成しています。

「新規出店数(3年間の累計)」は、令和2年度からの2年間で23店舗の出店があり、目標値を達成しています。

引き続き、公共空間の民間利活用の推進やまちなか出店に対する支援などを行い、中心市街地のさらなる魅力向上を図る必要があります。

## 2 すかがわの宝を生かしたまちづくり

### 施策戦略2-(1) 特撮文化拠点都市の構築とブランド力の向上

数値目標	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
特撮文化が須賀川市の特長だと思う市民の割合	87.5%	87.5%	—		90.0%	—

**【数値目標の傾向】**

「特撮文化が須賀川市の特長だと思う市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。

**【施策戦略の総合評価】**

円谷英二ミュージアム、須賀川特撮アーカイブセンターの認知が進んできていること、特撮やウルトラマンの関連事業の参加者が増加していることなどから、特撮文化が市民にとって、より身近になってきていると考えられます。  
引き続き、市内外の特撮文化関連施設、関係機関等との連携を図りながら、地域独自の資源を活用した各種施策に取り組むとともに積極的な情報発信に努め、事業を進めていく必要があります。

### 基本事項① 特撮文化拠点都市の構築・発信

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
特撮文化推進事業実行委員会主催事業の来場者数	0人	0人	1,293人		250人	—
円谷英二ミュージアム来館者数	23,162人 (H31.1.11~3.31)	22,772人	34,572人		50,000人	—

**【主な状況、成果、課題等】**

「特撮文化推進事業実行委員会主催事業の来場者数」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度は開催を見合わせた「背景画家 島倉二千六ギャラリー展」や特撮ワークショップなどを開催したことにより、来場者数は1,293人となり、目標値を達成しています。

「円谷英二ミュージアム来館者数」は、基準値(平成30年度)が年間を通じた来館者数ではなく、また、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症や福島県沖地震による休館などがあったため、単純比較はできませんが、前年度と比べ向上しています。

引き続き、特撮文化関連施設、関係機関等と連携しながら、特撮文化の継承に向けた事業の展開と情報発信を図る必要があります。

## 基本事項② 地域資源・ブランドを活用したイメージアップの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
地域ブランド力活用事業を活用し売上が増加した事業者数	10社	8社	7社		12社	—
仮想都市「すかがわ市M78光の町」住民登録者数	15,283人	18,949人	20,593人		20,000人	—

### 【主な状況、成果、課題等】

「地域ブランド力活用事業を活用し売上が増加した事業者数」は、円谷英二監督と関連性があるキャラクターや市マスコットキャラクターを活用した商品開発等への補助及び販路拡大支援に取り組みましたが、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

引き続き、活用事例などを紹介しながら、制度や商品の周知を図っていく必要があります。

「仮想都市『すかがわ市M78光の町』住民登録者数」は、M78光の町住民を対象としたイベントの実施や積極的な情報発信などにより、基準値と比較し5,310人増加しており、目標値を達成しています。

今後も、関係団体等と連携を図りながら、さらなるPR活動の展開や魅力的なコンテンツの提供に努める必要があります。

## 施策戦略2-(2) スポーツ振興によるイメージアップ戦略の展開

数値目標	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
スポーツに親しんでいる市民の割合	56.2%	55.6%	—		65.0%	—

### 【数値目標の傾向】

「スポーツに親しんでいる市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。

### 【施策戦略の総合評価】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動の自粛、スポーツ大会やスポーツ教室の中止、規模縮小などにより、スポーツに親しむ機会が減少していると考えられます。

引き続き、コロナ禍に対応した各種施策に取り組みながら、市民ニーズに応じた大会、教室の開催など、安全、安心にスポーツに親しむことができる機会の充実と環境の整備に取り組む必要があります。

## 基本事項① スポーツによるイメージアップの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
円谷幸吉メモリアルマラソン大会参加者数	3,084人	0人	231人		3,200人	—
激励金受給者の上位大会(東北大会以上)での入賞者数	57人	25人	34人		65人	—

### 【主な状況、成果、課題等】

「円谷幸吉メモリアルマラソン大会参加者数」は、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の影響等により3年ぶりに開催し、参加者数は231人でした。基準値と比べ低下していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加者を市民限定とするなど事業規模を縮小して開催したことによるものです。

「激励金受給者の上位大会(東北大会以上)での入賞者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響による各種大会の中止や規模縮小などにより、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しており、回復傾向にあります。

令和3年度は円谷幸吉メモリアルホールのリニューアルや国際大会等で活躍した選手を表彰する「幸吉賞」の表彰、パートナーシップ協定を締結している福島レッドホープスとの連携事業などに取り組みましたが、引き続き、スポーツによるイメージアップの推進を図る必要があります。

基本事項② 生涯スポーツ活動の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
スポーツ大会・教室の参加者数	34,579人	5,615人	7,806人		41,800人	—
スポーツ施設の利用者数	526,436人	249,415人	404,976人		601,500人	—

【主な状況、成果、課題等】

「スポーツ大会・教室の参加者数」及び「スポーツ施設の利用者数」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設の休館、スポーツ大会など各種事業の中止や規模縮小などを行ったことにより、基準値と比べ大きく低下していますが、大会等も徐々に再開されてきているため、前年度からは向上しており、回復傾向にあります。引き続き、スポーツに触れる様々な機会の提供、大会、教室の参加者数の増加などに努めていく必要があります。

施策戦略2-(3) 地域資源を活用した観光振興と交流の推進

数値目標	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
休日14時に本市に滞在していた人数	58,685人	59,046人	58,517人		60,400人	—

【数値目標の傾向】

「休日14時に本市に滞在していた人数」は、前年度より県外からの来訪者は増えたものの、市外へ移動した市民も増えたと推測され、基準値及び前年度と比べ横ばいで推移しています。

※県外からの訪問者(4月～6月累計) 東京都 R2:465人⇒R3:683人、宮城県 R2:509人⇒R3:634人、栃木県 R2:366人⇒R3:586人、埼玉県 R2:399人⇒R3:542人 など

【施策戦略の総合評価】

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、交流推進につながる動きが減少していますが、関係機関と連携して、多様化する観光ニーズに対応する施策に取り組む必要があります。

基本事項① 文化交流拠点を活用した交流の推進と文化の創造

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市民交流センター来館者数	153,163人 (H31.1.11～3.31)	369,103人	485,485人		600,000人	—
文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数	3,982人	3,384人	3,055人		5,000人	—

【主な状況、成果、課題等】

「市民交流センター来館者数」は、基準値(平成30年度)が年間を通じた来館者数ではなく、また、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症や福島県沖地震による休館などがあったため、単純比較はできませんが、前年度と比べ向上しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種イベントの中止や参加者数の制限などを行った一方、講座のオンライン動画配信などコロナ禍のニーズに対応した事業実施に努めました。

「文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数」は、会員の高齢化、団体や新規会員の減少、新型コロナウイルス感染症の影響等による活動自粛などにより、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

引き続き、コロナ禍に対応した取り組みを支援するとともに、幅広い世代の市民が文化活動に参画できるよう努めていく必要があります。

基本事項② 観光振興やインバウンドなどの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数	1,247,266人	782,400人	962,149人		1,500,000人	—
福島空港の利用者数	267,356人	68,355人	97,250人		300,000人	—

【主な状況、成果、課題等】

「観光庁策定『観光入込客統計に関する共通基準』に係る観光入込客数」は、新型コロナウイルス感染症の影響等による観光需要の落ち込み、釈迦堂川花火大会や松明あかし等の大規模イベントの中止や規模縮小などにより、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しており、回復傾向にあります。

「福島空港の利用者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響等による運航便数の減少、需要の落ち込みなどから、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しており、回復傾向にあります。

引き続き、コロナ禍に対応したイベントの開催や地域資源を生かした観光事業の展開を図る必要があります。

### 3 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり

#### 施策戦略3-(1) 安心して出産・子育てができる環境の充実

数値目標	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合	96.9%	97.1%	97.6%		97.0%	—

**【数値目標の傾向】**

「この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合」は、基準値及び前年度と比べ概ね横ばいで推移しています。

**【施策戦略の総合評価】**

新型コロナウイルス感染症の影響等を受けながらも、妊娠から、出産、子育てまで気軽に相談できる体制による切れ目のない支援に努めています。一方で、待機児童数に関する指標はいずれも低下しており、保育士等の人材確保や施設整備支援などの対策を強化するとともに、引き続き、保育所、幼稚園、こども園での延長保育や預かり保育、一時保育、病児・病後児保育などの特別保育の受け入れ環境の整備、充実に取り組んでいく必要があります。

#### 基本事項① 幼児教育・保育、学童保育などの充実

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
保育所、幼稚園、こども園の待機児童数	20人	26人	51人		0人	—
放課後児童クラブの待機児童数	3人	51人	56人		0人	—

**【主な状況、成果、課題等】**

「保育所、幼稚園、こども園の待機児童数」及び「放課後児童クラブの待機児童数」は、子どもの数は減少しているものの、核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化などに伴う需要の増加、保育士不足などにより、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

保育ニーズに応じた私立保育施設の整備支援、新卒保育士や潜在保育士への一時金の支給などを通じた保育士確保や財政的支援の強化など、引き続き、待機児童数0人に向け、受入れ定員の拡大に努める必要があります。

### 基本事項② 子育て支援の充実

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
子育て支援事業を利用した保護者の数	31,358人	16,936人	21,130人		32,000人	—
こどもセンター施設利用者数	28,404人 (H31.1.11～3.31)	28,616人	38,052人		80,000人	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「子育て支援事業を利用した保護者の数」は、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しており、回復傾向にあります。  
 「こどもセンター施設利用者数」は、基準値(平成30年度)が年間を通した利用者数ではなく、また、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症や福島県沖地震による休館などがあったため、単純比較はできませんが、前年度と比べ向上しています。  
 引き続き、こどもセンター、子育て世代包括支援センターなどが連携しながら各種施策に取り組むなど、子育て支援体制の充実を図る必要があります。

### 基本事項③ 妊産婦と子どもの健康管理支援体制の充実

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	87.8%	90.6%	90.4%		91.0%	—
乳幼児健康診査における問診項目(10項目)が全国の直近の平均値を上回る項目数	7項目	8項目	7項目		10項目	—

#### 【主な取組状況、成果、課題等】

「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合」は、基準値と比べ向上していますが、前年度からは概ね横ばいで推移しています。  
 「乳幼児健康診査における問診項目(10項目)が全国の直近の平均値を上回る項目数」は、基準値と比べ横ばいですが、前年度からは低下しました。  
 引き続き、社会環境の変化に応じて、ハード面、ソフト面両方から、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援を進める必要があります。

### 施策戦略3-(2)「小中一貫教育」須賀川モデルの推進

数値目標	基準値(R01)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
ふくしま学力調査において正答率が県平均を上回っている科目数	2/10科目(20.0%)	—	1/10科目(10.0%)		7/10科目(70.0%)	—

#### 【数値目標の傾向】

「ふくしま学力調査において正答率が県平均を上回っている科目数」は、基準値と比べ低下しています。なお、ほぼすべての科目で正答率の県平均との差は1%前後です。  
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ふくしま学力調査は実施されていません。

#### 【施策戦略の総合評価】

新型コロナウイルス感染症の影響等の長期化により、教育活動が制限されており、各基本事項の指標は概ね横ばい傾向にありますが、引き続き、子どもたちの学びを保障できる環境を整えていくとともに、不登校児童・生徒に対するきめ細かな対応、これまで以上の学校、家庭、地域社会の連携強化を図っていく必要があります。

### 基本事項① 開かれた学校づくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
学校の行事等に参加・協力している市民の割合 (中学生以下の子どもを持つ保護者は除く)	12.2%	7.5%	—		16.7%	—
学校評議員による学校評価の平均点数 (5点満点)	4.3点	4.3点	4.4点		4.5点	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「学校の行事等に参加・協力している市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。  
「学校評議員による学校評価の平均点数」は、取り組みの成果が評議員や地域の方々から評価を得られていることなどから、基準値と比べ向上しており、前年度からも向上しています。  
引き続き、各学校が創意工夫を図った活動や情報発信を行うとともに、保護者や地域住民との協力体制を強化するなど、学校、家庭、地域社会の連携に努め、地域に開かれた学校づくりを推進する必要があります。

### 基本事項② 確かな学力の向上と環境整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
小6における国語・算数の正答率が県平均を上回っている科目数	0科目	—	0科目		2科目	—
中3における国語・数学の正答率が県平均を上回っている科目数	1科目	—	1科目		2科目	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「小6における国語・算数の正答率が県平均を上回っている科目数」及び「中3における国語・数学の正答率が県平均を上回っている科目数」は、基準値と比べ横ばいで推移しています。  
今後は、活用力を伸ばす授業に取り組むとともに、GIGAスクール構想の推進にあわせて、ICTに対応した環境整備や教職員の資質・指導力の向上に努め、引き続き、確かな学力の習得に向け体制を整備していく必要があります。  
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力学習状況調査は実施されていません。

### 基本事項③ 心の教育の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
1,000人当たりの不登校児童・生徒数	13.0人	9.8人	9.8人		8.1人	—
不登校児童・生徒学校復帰率	12.0%	5.0%	6.8%		30.0%	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「1,000人当たりの不登校児童・生徒数」は、基準値と比べ向上していますが、前年度からは横ばいです。  
「不登校児童・生徒学校復帰率」は、背景が複雑化し短期間での復帰が難しくなっていることなどから、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しています。  
不登校の要因や背景が複雑化しており、解決が難しくなっている状況にありますが、引き続き、不登校となる問題の未然防止、個々の要因や背景に応じたきめ細やかな指導、「心の教室相談員」、「スクールソーシャルワーカー」、「緊急時スクールカウンセラー」による児童生徒及び保護者との相談機会の拡充など、家庭や関係機関と連携した取り組みに努める必要があります。

## 4 健康な暮らしを守るまちづくり

### 施策戦略4-(1) 全世代が健康な暮らしを続けられるまちづくりの推進

数値目標	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
この1年間に健康診断を受けている市民の割合	74.4%	70.1%	—		80.0%	—
<p>【数値目標の傾向】 「この1年間に健康診断を受けている市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。</p> <p>【施策戦略の総合評価】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため集団検診を中止したことなどにより、基準値と比べ低下傾向にありましたが、令和3年度は集団検診を再開したことから、割合は向上すると想定されます。 引き続き、未受診者に対する受診勧奨通知を行うとともに、様々な機会による受診案内など、健診受診率向上のための取り組みを行う必要があります。</p>						

### 基本事項① 生涯を通じた健康づくりの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
健康長寿健診の受診率	11.3%	—	—		13.0%	—
ふくしま健民カード発行件数	47件	39件	42件		100件	—
<p>【主な状況、成果、課題等】 「健康長寿健診の受診率」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、健康長寿健診を中止したことから、実績値は取得できませんでした。そのため、令和2年度に引き続き、代替事業として調査票を用いた追加調査を行ったところ、8,559人中4,450人(回答率52.0%)から回答があり、新型コロナウイルス感染症の影響下での高齢者の行動や健康の状況についての把握に努めました。 「ふくしま健民カード発行件数」は、基準値と比べ低下していますが、前年度からは向上しています。 引き続き、保健師、管理栄養士等による健康教育、健康相談、訪問指導を進めるとともに、健康づくり推進員、食生活改善推進員の活動支援などを通し、健康づくりの推進を図る必要があります。</p>						

## 基本事項② 病気の早期発見・早期治療の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
特定健康診査受診率	39.7%	34.8%	44.1%		45.0%	—
市健康増進計画における5大がん検診受診率の目標を達成している検診数	5項目	2項目	5項目		5項目	—
<b>【主な状況、成果、課題等】</b> 「特定健康診査受診率」は、集団健診の再開、未受診者への受診勧奨通知による受診者の増加などにより、基準値と比べ向上しており、前年度からも向上しています。 「市健康増進計画における5大がん検診受診率の目標を達成している検診数」は、基準値と比べ横ばいですが、前年度からは向上し、目標値に達しています。 令和2年度から特定健康診査の自己負担金を無料化し受診率の向上を図っており、引き続き、健康診査に併せたがん検診の受診勧奨などに取り組みながら、受診率向上を図る必要があります。						

## 施策戦略4-(2) 地域医療体制の充実と健康寿命の延伸

数値目標	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
地域で支え合う仕組みづくりができていると思う高齢者の割合	56.8%	55.6%	—		65.0%	—
<b>【数値目標の傾向】</b> 「地域で支え合う仕組みづくりができていると思う高齢者の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。 <b>【施策戦略の総合評価】</b> 各基本事項においては、コロナ禍においても一部向上している項目もありますが、引き続き、状況を的確に捉えながら、地域医療の充実と地域包括ケアシステムの推進を図り、高齢者が地域で健康に暮らしていけるまちづくりを進める必要があります。						

## 基本事項① 地域医療の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市内の医療体制に満足している市民の割合	76.7%	80.6%	—		85.0%	—
他の医療機関から紹介されて公立岩瀬病院を受診した患者の割合	38.0%	33.8%	49.8%		50.0%	—
<b>【主な状況、成果、課題等】</b> 「市内の医療体制に満足している市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。 「他の医療機関から紹介されて公立岩瀬病院を受診した患者の割合」は、新型コロナウイルス感染症の影響等もありますが、地域のかかりつけ医などへの受診が定着し、公立岩瀬病院との相互の連携が推進されていることなどから、基準値と比べ向上しており、前年度からも向上しています。 引き続き、関係機関等と連携しながら、休日夜間急病診療所の運営支援や公立岩瀬病院における医師招へい活動の支援などに取り組み、安心できる地域医療体制の構築に努める必要があります。						

## 基本事項② 介護予防の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
健康的に自立した生活ができている高齢者の割合	81.2%	81.1%	81.2%		81.2%	—
新規要介護認定者出現率	4.9%	3.7%	3.5%		4.9%	—

### 【主な状況、成果、課題等】

「健康的に自立した生活ができている高齢者の割合」は、基準値及び前年度と比べ横ばいで推移しています。  
「新規要介護認定者出現率」は、基準値と比べ向上しており、前年度からも向上しています。  
これらは、高齢者人口が増加している中、要介護状態になることを予防するための取り組みなどを推進したことにより、自立した生活ができている高齢者が増えていることが要因と考えられます。  
コロナ禍においては、外出機会の減少などによる心身機能の低下が懸念されるため、引き続き、通いの場などでの介護予防やフレイル予防の周知啓発に努める必要があります。

## 施策戦略4-(3) 住み続けられるまちづくりの推進

数値目標	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市民活動に参加している市民の割合	8.2%	6.1%	—		10.0%	—

### 【数値目標の傾向】

「市民活動に参加している市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。

### 【施策戦略の総合評価】

新型コロナウイルス感染症の影響等が長期化し、市民活動などの様々な取り組みが制限される状況にありますが、引き続き、持続可能なまちづくりを推進するため、地域住民や関係機関等と連携を図りながら、公共交通網の充実や地域コミュニティの活性化などに努める必要があります。

## 基本事項① 交通網の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
公共交通の乗車人員	1,159,833人	1,068,041人	855,959人		1,190,000人	—
交通手段がなくて困っている市民の割合	6.2%	5.2%	—		6.0%	—

### 【主な状況、成果、課題等】

「公共交通の乗車人員」は、利用者の減少傾向が続いていることや新型コロナウイルス感染症の影響等により、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。

「交通手段がなくて困っている市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。

令和3年度は、生活バス路線や循環バス、乗合タクシーの運行支援を継続するほか、公共交通の利用促進を図るため、全戸に須賀川市公共交通マップを配布しました。引き続き、交通弱者対策や交通不便地域解消を推進するため、新たな公共交通手段を検討するなど、地域住民や関係機関等と連携を図りながら、交通網の充実を図る必要があります。

### 基本事項② 地域コミュニティ活動の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合	67.5%	68.3%	—		76.0%	—
ふるさとづくり支援補助事業実施件数	40件	37件	11件		45件	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合」は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、未取得となっています。

「ふるさとづくり支援補助事業実施件数」は、新型コロナウイルス感染症の影響等による地域活動の自粛などにより、基準値と比べ低下しており、前年度からも低下しています。持続可能なまちづくりを推進するためには、地域コミュニティ活動の活性化は重要であることから、引き続き、市民と行政との協働や自治会活動の活性化支援などに取り組む必要があります。

### 基本事項③ 持続可能な環境都市の構築

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30)	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	目標値	進捗状況
住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数	1,563件	1,855件	2,025件		1,900件	—
リサイクル率(再資源化率)	17.2%	15.8%	15.8%		18.0%	—

#### 【主な状況、成果、課題等】

「住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数」は、再生可能エネルギー利用に対する意識の浸透や設備の低廉化などにより、基準値と比べ向上しており、前年度からも向上しています。

「リサイクル率(再資源化率)」は、新型コロナウイルス感染症の影響等による集団資源回収での回収量の減少などから、基準値と比べ低下していますが、前年度からは横ばいです。持続可能な環境都市の構築に向けて、再生可能エネルギー導入の推進をはじめ、小学生へのESD環境教育の実施やごみの分別、減量化への啓発活動などに取り組んでおり、継続して推進していく必要があります。